

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス キッズラボ		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 6日		～ R8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	R8年 2月 5日		～ R8年 2月 11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供たちや保護者の意見を尊重した支援を行っている	個別支援計画書の作成時や個別の療育など子供や保護者の意見を取り入れ、楽しい内容を取り組んでいます。	より専門性を高めるために外部の研修や社内の研修の参加を促していく。 担当だけでなく職員全員の意見を取り入れ支援計画書や療育内容を作成してしていく。
2	児童や保護者が相談しやすい関係性作り	気軽に相談できるよう送迎の際やお迎えに来られた際に笑顔で話しかけ、困り感などの相談を受けれるようにしていきます。 また子供達が利用された際に職員も遊びに参加し子供達との関係性作りを力を入れております。	今後も引き続き送迎や会議の際に保護者から話を聞き、支援についてだけでなく、自宅での様子や困り感についても相談援助を行っていく。 子供たちとのよい関係性を作っていくよう職員も一緒に遊びに参加を続けていく。
3	集団療育を行っている	児童の個別支援だけでなく集団遊びを取り入れた支援を行い児童の成長に繋がっています。	引き続き集団療育で様々な活動を取り入れ児童の成長につながり、楽しく活動出来るよう支援を行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間の情報の周知	保護者様や利用者の相談事や様子などの情報が職員全員に伝わっていない事がある。	休みや会議に参加している職員がいる場合などがありますので職員の連絡ノートなどを利用し全員に周知していく。
2	施設の利用スペースが狭い	限られたスペースでの活動になってしまっている。	外活動(施設の外、体育館、公園等)を取り入れ体を大きく動かせる活動を引き続き続けていく。
3	ご家族も参加できる活動が少ない	ご家族が参加している活動をおこなったところ機会を増やして増やしてほしいとの声があがっていること。 どのような療育・活動を行っているのか関わってみたいとの声があがっている。	今後親子で参加できる活動の機会を増やせるよう、活動の計画を立てていく。